

## 馬上弓くらべについて

特定非営利法人日本和種馬文化研究協会

古代・中世から武者は、『馬』と『弓矢』を合体し「笠懸」「犬追物」などを通じて、武芸の一つとして馬術を鍛錬してきました。

本大会は、戦国時代の武将、北条氏康の次男の氏政と三男氏照、四男の氏邦がそれぞれ小田原城、滝山城（八王子城）、鉢形城（寄居町）の城主として、北条家の勢力維持で協力し合ったといわれ、そうした歴史背景の縁を踏まえ、「第一回八王子馬上弓くらべ大会」と称し、戦国時代に關八州を掌中にした小田原城主北条氏康公が、全国各地から手練の騎者を集め、腕くらべを行ったと想定し、日ごろの鍛錬の成果として騎射の技術を披露する小田原城大会の八王子決戦です。

なお、この大会は、わが国の誇る和種馬文化の復刻、振興と共に寄与するものです。

## 和種馬文化を後世に伝えたい

我が国が誇る希少な和種馬とその文化を後世に伝えたい、その強い願いのもと、スポーツ流騎馬としての「馬上弓くらべ」が誕生しました。

実際に馬に乗る競技者はその爽快感を体験し、また競技を見守る観覧者も力強い和種馬の疾走と競技者の弓使いに圧倒されます。眠っていた古来日本人の遺伝子が蘇るような実感を持つ方も多いと思います。このように実際に「触れ合う」ことが何よりも大切なのです。今回の競技大会が東京での初開催となり、より多くの皆様に「和種馬文化」に触れていただけることを関係者一同心より嬉しく思います。

## 安全安心の市民スポーツとして

競技に際しては「安全を第一」に行います。そのため日頃より鍛錬を重ね検定によるクラス分けをすることで、無理のない競技参加を推進しております。今回の馬上弓くらべ競技は5つのクラス／5つの競技に分かれています。各クラス／競技によって埒（らち）からのまでの距離、競技方法（単走か先導付き・走法）などの難易度が変わります。

服装も原則和装（道衣・袴・装束等）ですが危険と思われる衣装は禁止し、乗馬用ヘルメット、射籠手（いごて）を必ず着用して競技に臨みます。また競技者は技術だけではなく、馬の扱いや作法についても『馬上弓くらべスクール』／『うま寺子屋』／紅葉台木曾馬牧場の『流騎馬スクール』などに参加することで学んでいます。

今大会を通して「馬上弓くらべ」を安全安心の市民スポーツとして広く皆様に知っていただけるものと思います。



## サドルバック牧場



海を見ながら  
乗馬を楽しもう!

牧場  
10:00-16:00 (季節によって変更有り)

カフェ  
11:00-19:00 (ラストオーダー=18:00)  
火曜日定休



〒250-0025  
神奈川県小田原市江之浦415  
TEL:0465-29-0830 FAX:0465-29-0414  
メール:voice@saddle-back.com

## 紅葉台木曾馬牧場

富士山を正面に望む、山梨県鳴沢村紅葉台のビジター制・外乗牧場  
和種馬たちに乗って、野外騎乗の魅力を存分に味わって下さい。



山梨県南都留郡鳴沢村紅葉台8529-86  
TEL/FAX : 0555-85-3138  
営業時間：平日10:00～ 休日9:00～